

留学報告書 II (2020年度小5コース留学生)

塾内在籍校・学年 (派遣時)	横浜初等部 5年
留学先校名	Dragon School
留学期間	2020年 9月から 2021年 7月まで

留学前

なぜ留学しようと思いましたか？

以前から海外での生活に興味を持っていましたが、以下の理由から海外留学をしてみたいと思いました。

- ・説明会で Dragon School について知り、楽しそうだったから。
- ・外国と一緒に英語を話せる友達をたくさん作り、遊びたかったから。
- ・イギリスで英語で生活をして、英語力を上げたかったから。
- ・寮生活を体験してみたかったから。

留学することにどのような期待をしていましたか？

留学を通じて、以下のようなことが出来ると良いと考えていました。

- ・楽しく元気に1年を過ごせること。
- ・たくさん友達を作ること。
- ・英語力が上がること。
- ・たくさんの人と英語で話せること。

留学に向けて、事前にどのような目標を立てましたか？

海外で生活するのは初めてだったので不安もありましたが、自分で頑張れば達成できる以下の3つの目標を立てました。

- ・自分からたくさん話してみることに。
- ・分からないことは質問してみることに。
- ・初めてのことで挑戦してみることに。

留学を振り返って

留学したはじめの頃は、慣れないことが多くて戸惑いましたが、素晴らしい生活を過ごせました。以下のような点が良かったことです。

- ・とても楽しかったし友達もできた。
- ・英語力が向上した。
- ・色々な人と話せた。
- ・寮ではみんなとたくさん遊べた。
- ・House Parents や Boarding assistant とも、たくさん話せた。
- ・食事は思っていたほどは悪くなかった。

クラブ活動や課外活動など、勉強以外の活動について教えてください。

Dragon School はクラブ活動や課外活動がとても充実していました。私は以下の活動に参加しました。

- ・クラブ活動：テニス、弦楽アンサンブル、クッキング、ヨガ、手芸
- ・課外活動：弦楽アンサンブル、テニスマッチ
- ・週末にもアクティビティがあり、学校内で様々なことをやる
- ・最後の週末は、規制が緩くなったので、外に遊びに行けた

学校内や寮内で、コロナ対策としてどのようなルールがありましたか？

コロナ対策としては、以下のようなルールがありました

- ・クラス、学年単位でバブルを作って、授業や食事などバブル単位で行動する。
- ・休み時間も同様に、学年のバブルで行動する

慶應義塾一貫教育校派遣留学制度

- ・寮ではとくに制限はなし。手洗いうがい。
- ・週末は最後の週末以外は学校内で過ごしました。

ルームメイトについて教えてください。

留学したはじめの頃は英語でコミュニケーションをとるのが大変でしたが、だんだんと仲良くなり、色々な話をしたり、一緒に遊んだりしました。私がいた寮では以下のようになっていました。

- ・1部屋5～6人で3部屋ありました。
- ・寮は同学年の女子16人で、半分位が英国外出身者。
- ・分からないことも、寮の友達が教えてくれました。

リモート学習期間中、友人とのコミュニケーションはどのようにしていましたか？

メールやFaceTimeでコミュニケーションをとっていました。
また、授業中にグループに分かれたときも、少し話せました。

アドバイザーの先生との面会はありましたか？ どのような内容でしたか？

アドバイザー (Tutor) の先生や各教科の先生とは、気軽にコミュニケーションをとることが出来、色々なことを相談したり、質問しやすかったです。

- ・Tutorは寮の先生なので、日々相談に乗ってくれました。
- ・各教科の担当の先生とは2月(学校閉鎖中)にオンラインで個人面談があり、日々の学習のフィードバックや、アドバイスをもらえました。
- ・授業中にも、アドバイスなどをもらえました。
- ・分からないことがあればいつでも先生に聞けます。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

短期休暇(エクシアート)はガーディアンの家で過ごしましたが、ハーフタームや学期末の長期休暇は以下のように過ごしました。

- ・ハーフターム(10月)は帰国しました。
- ・ハーフターム(6月)は、コロナで帰国できなかったため、ガーディアン宅で過ごしました。
- ・長期休み(冬、春)は帰国しました。

勉強について

授業の内容・進め方や宿題・テストなどは日本と違うことがたくさんありました。具体的には以下のような点が日本とは違うところです。

- ・French、Reasoning、FPE、PSHEE、Drama、DT、Programmingといった日本ではない科目がある。
- ・その分1週間当たりのMaths、English、Scienceなどのコマ数が少ない。
- ・授業では教科書は使用せず、パワーポイント等で作ったスライドをボードに写したり、プリントを使うなど、先生が作った資料で授業を行う。
- ・時間割はBlue WeekとGold Weekが交互になっている。
- ・授業の始めに、前回の範囲の復習をしてもらえることが多い。
- ・授業中にも生徒が質問をたくさんする。
- ・サポートの先生が2人くらい入ることもある。
- ・宿題は初等部よりすごく少ない。
- ・金曜日と週末、長期休みの時は宿題が出ない。
- ・単元テスト、学年末テストがある。
- ・単元テストは、科目にもよるが、学期に2、3回くらいある。
- ・学年末テストの前には、授業中に復習をしてくれる。
- ・宿題も学年末テスト用に復習になる。
- ・授業の資料は先生が作ったパワーポイント等なので、リモートでも同じように授業が進められる。
- ・リモートだと、ワード、パワーポイント等で課題を作成・提出することも多い。
- ・手書きでの課題の場合、写真を撮って提出する。

リモート授業について

イギリスがロックダウンになってしまったので、1月から3月まではリモート授業でした。リモート授業は専用のサイトを使って以下のように受講しました。

- ・リモート授業は自宅から受講した。
- ・時差の影響で1時間目が午後だったので、1~3時間目まではオンタイムでZoomを使って受講し、4・5時間目の授業は録画してもらって、翌日の朝に観た。
- ・オンラインだと先生もご自宅から参加のケースもあるため、Wi-Fi状況等でうまくつながらなかったりすることがあった。
- ・課題の提出などは専用サイトを通じて行った。
- ・自宅からの参加だったため、課題にはじっくり取り組めた。

今後の派遣留学生へのアドバイス

英語を学習しておくのと良いと思います
あとは留学を楽しみにしておくこと以外は特にありません。

以上

